

令和3年度

大牟田市自然環境調査報告書

調査地区：甘木山



甘木山 鷺ヶ浦堤

令和4年3月
大牟田市

大牟田市では、平成24年3月に「第2次環境基本計画」を策定し、自然共生社会の実現を基本方針のひとつに掲げ、自然環境の保全を重要な課題のひとつと位置づけ、自然環境に関する調査を実施し、自然環境保全の基礎資料としています。

本報告書は、令和3年度に実施した甘木山地区の自然環境調査結果を分野ごとに取りまとめたものです。

目 次

1 調査目的	1
2 調査分野と調査実施期間	1
3 調査区域	2
4 調査方法	3
5 調査結果	4
(1) 植生・植物	4
(2) 鳥類	26
(3) 昆虫類・クモ類	29
(4) は虫類・両生類	39
(5) ほ乳類	41
6 まとめ	42

1 調査目的

本調査は、大牟田市第2次環境基本計画（平成24年3月）に基づき、自然環境保全の基礎資料とするとともに、市民・事業者等の啓発に資するため実施した。

2 調査分野と調査実施期間

調査対象分野は表1の各分野とし、担当の大牟田市自然環境調査研究専門委員が春期、秋期の2回調査を実施した。

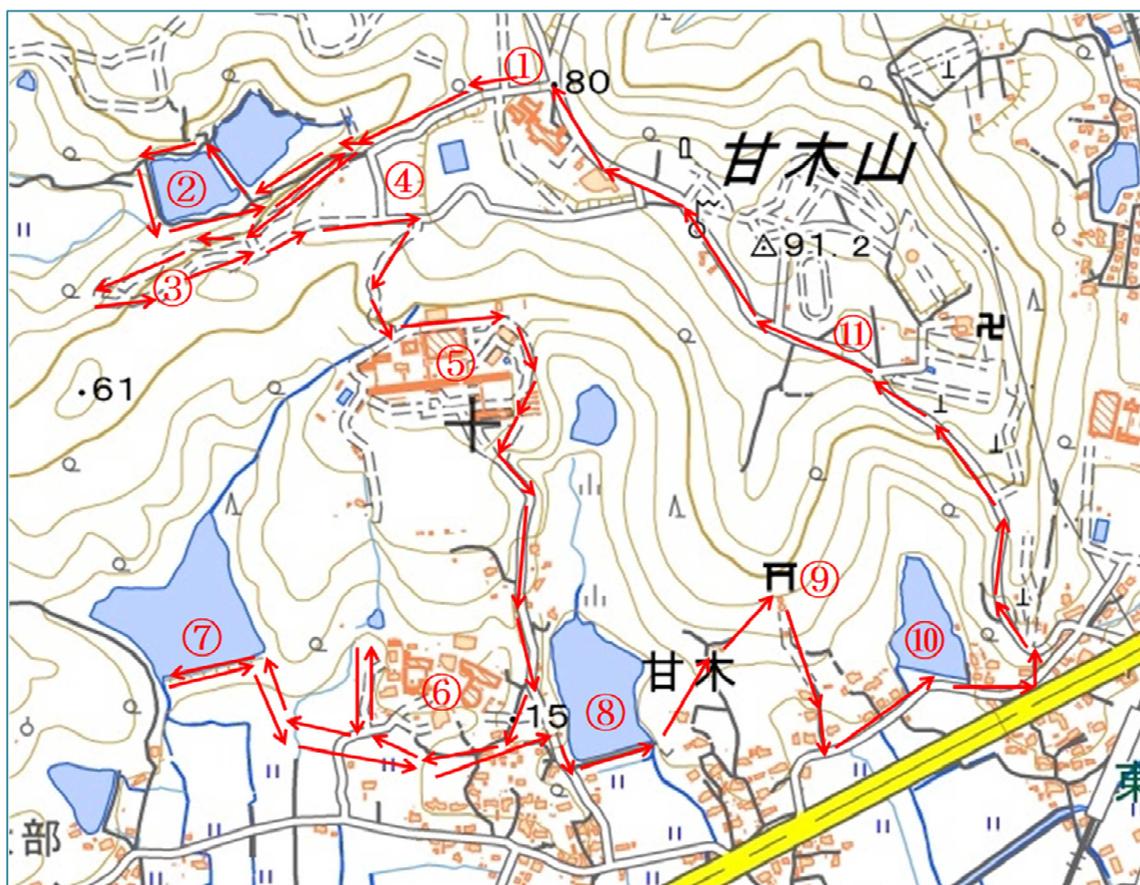
表1. 調査分野と調査実施期間

分 野	担当専門委員	春期調査	秋期調査
植生・植物	中島 健晴	R3.5.5	R3.10.30
鳥 類	佐藤 政明	R3.5.29	R3.11.24
昆虫類・クモ類	中嶋 秀利	R3.5.29	R3.11.24
は虫類・両生類	松永 公幸	R3.4.10	R3.10.25
ほ乳類	尾形 健二	R3.5.10	R3.11.12

3 調査区域

本調査では、筑後平野の南縁に位置している大牟田市北西部の丘陵地で、標高 91.2m（国土地理院調べ）、大牟田市街地や有明海が一望できる甘木山を調査地区とした。

図1. 調査区域・ルート図（赤点線：調査ルート）



4 調査方法

本調査は、目視確認による現地調査を基本とし、必要に応じて聞き取り調査や文献調査等を行うこととした。

確認された生物種は分野ごとに一覧表にまとめた。表中の科、種は今回調査で確認された数で平成20年度参考値を含まない。備考欄に記載した記号の意味は以下のとおり。

表2. 表中で使用した記号の意味

記号	用語	意味
I A類	絶滅危惧 I A類	ごく近い将来での絶滅の危険性が極めて高い種。
I B類	絶滅危惧 I B類	I A類ほどではないが、近い将来での絶滅の危険性が高い種。
II類	絶滅危惧 II類	絶滅の危険が増大しており、将来的に絶滅のおそれのある種。
準絶	準絶滅危惧	当面絶滅のおそれはないが、その傾向が強まっている種。
(国)	環境省レッドリスト	環境省レッドリストを示す。
(県)	福岡県レッドデータ	福岡県レッドデータを示す。
特外	特定外来生物	外来生物（海外起源の外来種）であって、生態系、人の生命・身体、農林水産業へ被害を及ぼすもの、又は及ぼすおそれがあるもので、国が指定したもの。
植物のみ	木 木本類	<p>「木本類」の略。木本類とは形成層が発達し木質化するもので、おおまかにいえば年輪を有するもの。</p> <p>⇨草本類は、形成層が無い、あるいはあまり発達せず木質化しないもの。「木」の記載がないものは全て草本類。</p> <p>つる性植物については、木質化するものを木本類とし、それ以外を草本類とした。</p> <p>竹については、諸説あるので木本類とはしなかった。</p>
	外 外来植物	本来生息しない地域に、人為的に持ち込まれた植物。国内に移入された年代は諸説あるため統一された学会の見解は無いが、ここでは史前帰化と思われるものは含めないこととした。
	逸 植栽逸出	人為的に植栽されたものが、野生化して繁殖したもの。外来種については逸出を含め外来種としてまとめ、在来種の逸出のみを表示した。

5 調査結果

(1) 植生・植物

- ◆ 維管束植物（シダ植物及び種子植物）を対象として調査を行い、維管束植物102科423種（参考：平成20年度は114科382種）が確認された。
- ◆ 新たに環境省絶滅危惧Ⅱ類、福岡県絶滅危惧ⅠB類のイヌセンブリが確認された。
- ◆ 福岡県絶滅危惧Ⅱ類のリンドウが確認された。
- ◆ 福岡県絶滅危惧ⅠB類のシンジュガヤが確認された。
- ◆ 新たに環境省準絶滅危惧種、福岡県準絶滅危惧種のカワヂシャ、ミゾコウジュが確認された。
- ◆ 平成20年調査時に確認された環境省絶滅危惧Ⅱ類、福岡県絶滅危惧ⅠA類のロクオンソウは確認されなかった。
- ◆ 新たに特定外来種のおオキケンケイギクが確認された。

表3. 確認された植物の調査結果

（新エングラークラシフィックによる）

分類群	のべ		春季		秋季	
	科	種	科	種	科	種
維管束植物	102	423	91	328	95	304
シダ植物	13	28	11	22	13	24
種子植物	89	395	80	306	82	280
裸子植物	1	3	1	1	1	3
被子植物	88	392	79	305	81	277
双子葉類	75	289	68	238	69	207
離弁花類	53	181	48	153	47	131
合弁花類	22	108	20	85	22	76
単子葉類	13	103	11	67	12	70

表4. 確認された主な植物

	<p>国：絶滅危惧Ⅱ類 県：絶滅危惧ⅠB類</p>
<p>イヌセンブリ</p>	<p>湿地に生える多年草。草丈 30 cmほどになる。秋に5枚の花びらからなる直径2~3 cmの花を咲かせる。白色の花びらには何本かの紫の線が入っている。葉がやや広いことや花の中心に細かな毛が生えていることで、外見のよく似たセンブリと区別できる。</p>
	<p>（出典：福岡県の希少野生生物 福岡県レッドデータブック 2011）</p>



リンドウ

県：絶滅危惧Ⅱ類

茎は高さ 20～100 cm、直立または斜上する。葉は対生し卵状披針形、長さ 3～8 cm。9～11 月、茎頂および上部の葉腋に 1 個～多数の花をつける。花冠は筒状釣鐘型、長さ 4～5 cm で 5 裂し、青紫色。古くから薬用に用いられている。

(出典：福岡県の希少野生生物 福岡県レッドデータブック 2001)



シンジュガヤ (写真出典：ウイキペディア)

県：絶滅危惧ⅠB類

多年草で太くて堅い地下茎がある。稈は鋭い三角状。花序は 1 個で頂生。葉鞘には翼がある。果実には真珠に似て光沢がある。

(出典：福岡県の希少野生生物 福岡県レッドデータブック 2001)



カワヂシャ

国：準絶滅危惧種 県：準絶滅危惧種

超年草。生育環境によって、沈水～抽水～湿生として生育する。茎は円く、枝分かれして直立する。高さ 10～50 cm。葉はわずかに茎を抱く。干上がった湿地ではロゼット状にはりつく。

(出典：福岡県の希少野生生物 福岡県レッドデータブック 2001)



ミゾコウジュ

国：準絶滅危惧種 県：準絶滅危惧種

河川敷やため池まわりの草地や裸地、道ばたなどに育成する越冬草。秋～冬にかけ大きい楕円形の葉が地表から四方八方に広がる。春に茎が高さ数十cmに伸び、長楕円形の小さな葉をつけ、枝分かれし、初夏にかけ枝上部にピンクの小さな花をたくさんつける。葉の縁に細かなギザギザがある。

(出典：福岡県の希少野生生物 福岡県レッドデータブック 2011)

表5. 確認された植物

NO.1

科名	種名 (和名)	春季調査	秋季調査	H20調査	備考
		5月5日	10月30日	(参考)	
シダ植物 (13科 28種)					
イノモトソウ科	アマクサシダ		○		
	イノモトソウ	○	○	○	
イワデント科	イヌワラビ			○	
	シケシダ			○	
	シケチシダ			○	
イワヒバ科	イヌカタヒバ	○	○	○	逸出
	コンテリクラマゴケ			○	外
	タチクラマゴケ			○	
ウラジロ科	ウラジロ	○	○	○	
	コシダ	○	○	○	
ウラボシ科	ノキシノブ	○	○	○	
	ヒトツバ			○	
	マメツタ	○	○	○	
オシダ科	イノデ	○		○	
	イノデモドキ			○	
	イワヘゴ			○	
	オオカナワラビ			○	
	オクマワラビ			○	
	オニカナワラビ			○	
	オニヤブソテツ	○	○	○	
	クマワラビ			○	
	ツクシイワヘゴ			○	
	テリハヤブソテツ		○		
	トウゴクシダ		○		
	ナガバナノイタチシバ			○	
	ナガバヤブソテツ	○			
	ハカタシダ			○	
ベニシダ	○	○	○		

※ H20 調査でのみ確認されたものは灰色表記としている。

表5. 確認された植物

NO.2

科名	種名 (和名)	春季調査	秋季調査	H20調査	備考
		5月5日	10月30日	(参考)	
シダ植物 (続き)					
オシダ科 (続き)	ヤマヤブソテツ			○	
	ヤブソテツ			○	
コバノイシカグマ科	イシカグマ	○	○	○	
	イワヒメワラビ			○	
	フモトシダ	○	○	○	
	ワラビ	○	○	○	
シシガシラ科	オオカグマ	○	○	○	
	シシガシラ			○	
ゼンマイ科	ゼンマイ		○	○	
チャセンシダ科	トラノオシダ			○	
トクサ科	スギナ	○	○	○	
ハナヤスリ科	オオハナワラビ			○	
	コヒロハハナヤスリ			○	
ヒメシダ科	ゲジゲジシダ	○	○		
	コハシゴシダ	○	○	○	
	ハシゴシダ			○	
	ヒメワラビ		○	○	
	ホシダ	○	○	○	
	ミゾシダ	○		○	
	ミドリヒメワラビ	○			
フサシダ科	カニクサ	○	○	○	
ホングウシダ科	ホラシノブ	○	○	○	
ミズワラビ科	タチシノブ			○	
	ハウライシダ			○	
メシダ科	シロヤマシダ		○		
種子植物 (89科 395種)					
└ 裸子植物 (1科 3種)					
マツ科	アカマツ	○	○	○	木

※ H20 調査でのみ確認されたものは灰色表記としている。

表5. 確認された植物

NO.3

科名	種名 (和名)	春季調査	秋季調査	H20調査	備考
		5月5日	10月30日	(参考)	
裸子花類 (続き)					
マツ科 (続き)	クロマツ		○	○	木
	テーダマツ		○		木・外
種子植物 (89科 395種)					
└ 被子植物 (88科 392種)					
└ 双子葉類 (75科 289種)					
└ <u>離弁花類 (53科 181種)</u>					
アオイ科	キンゴジカ			○	
	ヤノネボンテンカ			○	
アオギリ科	アオギリ	○		○	
アカザ科	アカザ			○	
	ケアリタソウ			○	外
	シロザ			○	
アカバナ科	アカバナユウゲショウ	○			外
	アレチマツヨイグサ			○	外
	コマツヨイグサ	○	○	○	外
	チョウジタデ			○	
	ヒルザキツキミソウ	○		○	外
	ヒレタゴボウ		○		外
	メマツヨイグサ	○	○	○	外
アケビ科	アケビ	○	○	○	木
	ゴヨウアケビ			○	木
	ミツバアケビ	○	○	○	木
	ムベ	○	○	○	木
アブラナ科	イヌガラシ	○	○		
	オランダガラシ			○	外
	カラクサナズナ	○			外
	ナズナ	○			
アリノトウグサ科	アリノトウグサ	○	○	○	

※ H20調査でのみ確認されたものは灰色表記としている。

表5. 確認された植物

NO. 4

科名	種名 (和名)	春季調査	秋季調査	H20調査	備考
		5月5日	10月30日	(参考)	
離弁花類 (続き)					
イイギリ科	クストイゲ			○	木
イラクサ科	カラムシ	○	○	○	
	ヤブマオ			○	
ウコギ科	カクレミノ	○	○	○	木
	キツタ		○	○	木
	セイヨウキツタ	○	○		木・外
	タラノキ	○	○	○	木
	ハリギリ			○	木
	ヤツデ	○	○	○	木
ウマノスズクサ科	ウマノスズクサ			○	
ウリ科	カラスウリ	○	○	○	
	キカラスウリ	○	○	○	
ウルシ科	ヌルデ	○	○	○	木
	ハゼノキ	○	○	○	木
	ヤマハゼ		○	○	木
オシロイバナ科	オシロイバナ		○	○	外
オトギリソウ科	コケオトギリ			○	
	タイリンキンシバイ	○			外・逸
	ヒメオトギリ	○	○	○	
カエデ科	イロハカエデ	○	○		木
	トウカエデ	○			木・外
カタバミ科	アカカタバミ	○		○	
	イモカタバミ		○		外
	ウスアカカタバミ	○			
	オッタチカタバミ	○	○	○	外
	カタバミ	○	○		
	ムラサキカタバミ	○		○	木・外
キンポウゲ科	キツネノボタン	○	○	○	

※ H20 調査でのみ確認されたものは灰色表記としている。

表5. 確認された植物

NO.5

科名	種名 (和名)	春季調査	秋季調査	H20調査	備考
		5月5日	10月30日	(参考)	
離弁花類 (続き)					
キンポウゲ科 (続き)	ケキツネノボタン	○			
	センニンソウ	○	○		木
	ヒメウズ	○			
クスノキ科	クスノキ	○	○	○	木
	シロダモ	○	○	○	木
	タブノキ	○	○	○	木
	ニッケイ	○	○		木・逸
	ヤブニッケイ		○	○	木
グミ科	アキグミ	○	○	○	木
	ナワシログミ	○	○	○	木
クワ科	イタビカズラ			○	木
	イヌビワ	○	○	○	木
	オオイタビ	○	○		木
	カジノキ			○	木
	カナムグラ	○	○	○	
	クワクサ		○	○	
	ホソバイヌビワ			○	木
	ヤマグワ	○			木
ケシ科	ムラサキケマン	○			
ザクロソウ科	ザクロソウ		○	○	
スベリヒユ科	スベリヒユ		○	○	
	ハゼラン			○	
スミレ科	スミレ	○	○		
	タチツボスミレ	○	○		
	ヒメスミレ	○			
セリ科	ウマノミツバ	○	○		
	オヤブジラミ	○		○	
	セリ	○	○	○	

※ H20 調査でのみ確認されたものは灰色表記としている。

表5. 確認された植物

NO.6

科名	種名 (和名)	春季調査	秋季調査	H20調査	備考
		5月5日	10月30日	(参考)	
離弁花類 (続き)					
セリ科 (続き)	チドメグサ	○		○	
	ツボクサ	○		○	
	ノチドメ	○	○	○	
	マツバゼリ	○	○	○	外
	ヤブジラミ	○			
	ヤブニンジン	○			
センダン科	センダン	○	○	○	木
センリョウ科	センリョウ	○	○	○	木
タデ科	アレチギシギシ	○		○	外
	イシミカワ			○	
	イヌタデ	○	○	○	
	ギシギシ	○	○	○	
	シロバナサクラタデ		○	○	
	スイバ	○	○	○	
	ヒメツルソバ	○	○	○	外
	ボントクタデ		○		
ミゾソバ	○	○	○		
ツツラフジ科	アオツツラフジ	○	○	○	木
	ハスノハカズラ	○	○	○	木
ツバキ科	チャノキ		○		木
	ハマヒサカキ			○	木・逸
	ヒサカキ	○	○	○	木
	ヤブツバキ	○	○	○	木
トウダイグサ科	アカメガシワ	○	○	○	木
	アレチニシキソウ	○	○		外
	エノキグサ		○	○	
	カンコノキ	○	○	○	木
	コニシキソウ		○	○	外

※ H20 調査でのみ確認されたものは灰色表記としている。

表5. 確認された植物

NO.7

科名	種名 (和名)	春季調査	秋季調査	H20調査	備考
		5月5日	10月30日	(参考)	
離弁花類 (続き)					
トウダイグサ科 (続き)	コバノニシキソウ	○	○		外
	コミカンソウ		○	○	
	シナアブラギリ			○	木・逸
	トウダイグサ	○		○	
	ナンキンハゼ	○	○	○	木・外
	ニシキソウ			○	
	ハイニシキソウ			○	外
	ブラジルコミカンソウ			○	外
ドクダミ科	ドクダミ	○	○	○	
トベラ科	トベラ	○	○	○	木
ナデシコ科	イヌコモチナデシコ			○	外
	ウシハコベ	○	○	○	外
	オランダミミナグサ	○			外
	コハコベ	○			外
	シロバナマンテマ			○	外
	ツメクサ	○			
	ノミノツヅリ	○		○	
	ノミノフスマ	○			
	フクロナデシコ	○			外
ニガキ科	ニガキ	○			木
ニシキギ科	ツルウメモドキ	○	○	○	木
	マサキ	○	○	○	木
ニレ科	エノキ	○	○	○	木
	ムクノキ	○	○	○	木
バラ科	オハビイチゴ	○	○		
	カマツカ	○	○	○	木
	クサイチゴ	○	○	○	木
	シモツケ	○			逸

※ H20 調査でのみ確認されたものは灰色表記としている。

表5. 確認された植物

NO.8

科名	種名	春季調査	秋季調査	H20調査	備考
		5月5日	10月30日	(参考)	
離弁花類 (続き)					
バラ科 (続き)	シャリンバイ	○	○	○	木
	テリハノイバラ	○	○	○	木
	トキワサンザシ	○		○	木・外
	ナガバモミジイチゴ	○	○	○	木
	ナワシロイチゴ	○		○	木
	ノイバラ	○	○	○	木
	ビロードイチゴ		○	○	
	ビワ	○	○	○	木・逸
	フユイチゴ	○			木
	ヤブヘビイチゴ	○	○		
	ヤマザクラ	○	○	○	木
ヒメハギ科	ヒメハギ	○	○	○	
ビャクダン科	カナビキソウ	○		○	
ヒユ科	イヌビユ			○	外
	イノコズチ	○	○	○	
	ヒナタイノコズチ		○		
	ホソバツルノゲイトウ		○		外
	ホナガイヌビユ		○	○	外
フウロソウ科	アメリカフウロ	○	○	○	外
ブドウ科	エビヅル		○	○	木
	キレハノブドウ			○	木
	ツタ	○	○	○	木
	ノブドウ	○	○	○	木
	ヤブガラシ	○	○	○	
ブナ科	アラカシ	○	○	○	木
	クヌギ	○	○	○	木
	クリ	○		○	木
	コナラ	○	○	○	木

※ H20 調査でのみ確認されたものは灰色表記としている。

表5. 確認された植物

NO.9

科名	種名 (和名)	春季調査	秋季調査	H20調査	備考
		5月5日	10月30日	(参考)	
離弁花類 (続き)					
ブナ科 (続き)	シリブカガシ	○	○	○	木
	ツブラジイ			○	木
ベンケイソウ科	コモチマンネングサ	○		○	
ホルトノキ科	ホルトノキ	○	○		木・外
ボロボロノキ科	ボロボロノキ	○	○	○	木
マツブサ科	サネカズラ	○	○	○	木
マメ科	アレチヌスビトハギ	○	○	○	外
	ウマゴヤシ	○			外
	エビスグサ	○		○	
	カスマグサ	○			
	クサネム		○	○	
	クズ	○	○	○	
	ゲンゲ	○			外
	コマツナギ	○	○	○	木
	コメツブウマゴヤシ	○			外
	コメツブツメクサ	○			外
	シロツメクサ	○	○	○	外
	スズメノエンドウ	○	○		
	セイヨウミヤコグサ	○			外
	タンキリマメ	○	○		
	ツクシハギ			○	木
	ツルマメ	○	○	○	
	ナツフジ	○	○	○	木
	ニシキハギ		○	○	木
	ニセアカシア	○		○	木・逸
	ヌスビトハギ	○	○	○	
ネコハギ	○	○	○	木	
ネムノキ	○	○	○	木	

※ H20 調査でのみ確認されたものは灰色表記としている。

表5. 確認された植物

NO. 10

科名	種名 (和名)	春季調査	秋季調査	H20調査	備考
		5月5日	10月30日	(参考)	
離弁花類 (続き)					
マメ科 (続き)	ノアズキ		○	○	
	ノダフジ		○		木
	ハイメドハギ	○		○	木
	ハタササゲ			○	逸
	フサアカシア	○		○	木・外
	ミヤコグサ	○	○	○	
	メドハギ	○	○	○	木
	ヤハズエンドウ	○			
	ヤハズソウ	○	○	○	
	ヤブマメ		○		
	ヤマハギ		○	○	木
ヤマフジ	○		○	木	
ミカン科	イヌザンショウ			○	木
	カラスザンショウ	○	○	○	木
ミツバウツギ科	ゴンズイ		○	○	木
メギ科	ナンテン	○	○	○	木
モチノキ科	イヌツゲ	○		○	木
	クログネモチ	○	○	○	木
	ナナミノキ	○	○	○	木
	モチノキ	○	○		木
ヤマモガシ科	ヤマモガシ	○	○		木
ヤマモモ科	ヤマモモ		○	○	木
ユキノシタ科	ウツギ			○	木
ユズリハ科	ヒメユズリハ	○		○	木
L 合弁花類 (22科 108種)					
アカネ科	アリドオシ	○		○	
	オオアリドオシ		○		木
	クチナシ	○	○	○	木

※ H20 調査でのみ確認されたものは灰色表記としている。

表5. 確認された植物

NO.11

科名	種名 (和名)	春季調査	秋季調査	H20調査	備考
		5月5日	10月30日	(参考)	
合弁花類 (続き)					
アカネ科 (続き)	ハクチョウゲ	○	○	○	木・逸
	ヒメヨツバムグラ	○	○	○	
	ハクソカズラ	○	○	○	
	ヤエムグラ	○			
エゴノキ科	エゴノキ	○	○	○	木
オオバコ科	オオバコ	○	○	○	
	ツボミオオバコ	○	○	○	外
ガガイモ科	ガガイモ	○	○	○	
	ロクオンソウ			○	(国)Ⅱ類、(県)ⅠA類
カキノキ科	カキノキ	○	○		木
	ヤマガキ			○	木
キキョウ科	キキョウソウ	○		○	外
	ヒナギキョウ			○	
	ヒナキキョウソウ	○			外
	ミゾカクシ		○		
キク科	アイノコセンダングサ		○		外
	アキノキリンソウ			○	
	アキノノゲシ	○	○	○	
	アメリカセンダングサ	○	○	○	外
	アメリカタカサブロウ		○	○	外
	ウスベニチチコグサ	○			外
	ウラジロチチコグサ	○	○	○	外
	オオアレチノギク	○	○	○	外
	オオオナモミ			○	外
	オオキンケイギク	○			特外
	オオジシバリ	○	○	○	
	オカダイコン	○	○	○	
オニタビラコ	○	○			

※ H20 調査でのみ確認されたものは灰色表記としている。

表5. 確認された植物

NO.12

科名	種名 (和名)	春季調査	秋季調査	H20調査	備考
		5月5日	10月30日	(参考)	
合弁花類(続き)					
キク科(続き)	ガンクビソウ			○	
	ククイモ			○	外
	ククバヒヨドリ			○	
	クツネアザミ	○			
	クバナコスモス			○	逸
	クオニタビラコ	○			
	クシロノセンダングサ	○	○	○	外
	クセンダングサ	○	○		外
	クシロバナタンポポ	○			
	クセアカアワダチソウ	○	○	○	外
	クセイヨウタンポポ		○	○	外
	クセンダングサ			○	
	クチチコグサ	○		○	
	クチチコグサモドキ	○		○	外
	クツワブキ		○		
	クトキンソウ		○		
	クニガナ	○			
	クノアザミ	○			
	クノゲシ	○			
	クノボロギク	○	○		外
	クハハコグサ	○	○		
	クヒメジョオン	○	○	○	外
	クヒメムカシヨモギ		○	○	外
	クヒヨドリバナ	○	○	○	
クヒロハホウキギク		○		外	
クフキ	○	○			
クベニバナボロギク		○	○	外	
クハラバヒメジョオン	○	○	○	外	

※ H20 調査でのみ確認されたものは灰色表記としている。

表5. 確認された植物

NO.13

科名	種名 (和名)	春季調査	秋季調査	H20調査	備考
		5月5日	10月30日	(参考)	
合弁花類(続き)					
キク科(続き)	ムラサキニガナ	○		○	
	メリケントキンソウ	○	○		外
	ヤナギバヒメジョオン			○	外
	ヤブタビラコ	○			
	ヨメナ	○	○	○	
	ヨモギ	○	○	○	
キツネノマゴ科	キツネノマゴ		○	○	
	ヤナギバルイラソウ			○	外
キョウチクトウ科	ケテイカカズラ	○	○	○	木
	ツルニチニチソウ	○	○	○	木・外
	テイカカズラ	○	○	○	木
クマツヅラ科	アレチハナガサ	○	○	○	外
	オオムラサキシキブ		○		
	クサギ	○	○	○	木
	シチヘンゲ	○			木・外
ゴマノハグサ科	アゼナ			○	
	ウリクサ		○	○	
	オオイヌノフグリ	○	○		外
	カワヂシャ	○			(国)準絶、(県)準絶
	タチイヌノフグリ	○			外
	トキワハゼ	○	○		
	ヒロハスズメノトウガラシ		○		
	フラサバソウ	○			外
	マツバウンラン	○		○	外
サクラソウ科	オカトラノオ	○		○	
	コナスビ	○	○	○	
	ルリハコベ	○			外
シソ科	イヌコウジュ		○	○	

※ H20調査でのみ確認されたものは灰色表記としている。

表5. 確認された植物

NO.14

科名	種名 (和名)	春季調査	秋季調査	H20調査	備考
		5月5日	10月30日	(参考)	
合弁花類 (続き)					
シソ科 (続き)	オドリコソウ	○			
	カキドオシ	○	○	○	
	キランソウ	○	○		
	トウバナ	○	○	○	
	ホトケノザ		○		
	ミゾコウジュ	○	○		(国)準絶、(県)準絶
	ヤマハッカ			○	
スイカズラ科	キダチニンドウ	○	○	○	木
	サンゴジュ	○			木・逸
	スイカズラ	○	○	○	木
	ソクズ			○	
	ニワトコ	○			木
	ハクサンボク			○	木
	ハマニンドウ	○			木
ツツジ科	シャシャンボ	○	○	○	木
	ネジキ	○	○	○	木
ナス科	アメリカイヌホオズキ		○	○	外
	オオイヌホオズキ	○	○	○	外
	クコ		○	○	木
ハイノキ科	ミミズバイ			○	木
	クロキ	○	○	○	木
ハエドクソウ科	ハエドクソウ			○	
ハマウツボ科	ナンバンギセル			○	
ヒルガオ科	アサガオ		○		逸出
	コヒルガオ		○	○	
	ヒルガオ	○			
	ホシアサガオ		○		外
	リュウキュウアサガオ		○		外

※ H20 調査でのみ確認されたものは灰色表記としている。

表5. 確認された植物

NO. 15

科名	種名 (和名)	春季調査	秋季調査	H20調査	備考
		5月5日	10月30日	(参考)	
合弁花類 (続き)					
ムラサキ科	キュウリグサ	○			
	チシャノキ	○	○	○	木
	ハナイバナ	○			
モクセイ科	ネズミモチ	○	○	○	木
	シマトネリコ	○	○		木・逸
	トウネズミモチ	○	○	○	木・外
	ヒイラギモクセイ	○	○		木・逸
ヤブコウジ科	ツルコウジ	○		○	木
	マンリョウ	○	○	○	木
	ヤブコウジ	○		○	木
リョウブ科	リョウブ			○	木
リンドウ科	イヌセンブリ		○		(国)Ⅱ類、(県)ⅠB類
	リンドウ	○	○	○	(県)Ⅱ類
種子植物 (89科 395種) ↳ 被子植物 (88科 392種) ↳ 単子葉類 (13科 103種)					
アヤメ科	オオニワゼキショウ	○		○	外
	キショウブ	○	○		外
	シャガ	○	○		外
	ニワゼキショウ			○	外
	ハルザキグラジオラス	○			外
	ヒメヒオウギズイセン	○	○		外
イグサ科	クサイ	○	○	○	
	コウガイゼキショウ	○			
	スズメノヤリ	○	○		
イネ科	アオカモジグサ	○		○	
	アキノエノコログサ		○	○	
	アキメヒシバ		○	○	

※ H20調査でのみ確認されたものは灰色表記としている。

表5. 確認された植物

NO.16

科名	種名 (和名)	春季調査	秋季調査	H20調査	備考
		5月5日	10月30日	(参考)	
単子葉類 (続き)					
イネ科 (続き)	アシ	○	○	○	
	アゼガヤ			○	
	アブラスキ		○	○	
	アメリカスズメノヒエ			○	
	イヌナギナタガヤ			○	
	イヌビエ		○	○	
	イヌムギ	○		○	
	エノコログサ		○	○	
	オオクサキビ		○		外
	オカメザサ	○	○	○	
	オニウシノケグサ	○		○	外
	オヒシバ		○	○	
	カズノコグサ	○			
	カゼクサ		○	○	
	カモガヤ	○		○	外
	カモジグサ	○		○	
	カモノハシ			○	
	カラスムギ	○		○	外
	ギョウギシバ	○	○	○	外
	キンエノコ		○	○	
	クサヨシ	○		○	
	クマザサ	○	○		
	ケイヌビエ			○	
	コスズメガヤ		○		外
	コツブキンエノコ		○	○	
	コブナグサ		○		
コメヒシバ		○	○		
ササガヤ		○			

※ H20 調査でのみ確認されたものは灰色表記としている。

表5. 確認された植物

NO.17

科名	種名 (和名)	春季調査	秋季調査	H20調査	備考
		5月5日	10月30日	(参考)	
単子葉類 (続き)					
イネ科 (続き)	ササクサ	○	○	○	
	シナダレスズメガヤ	○	○	○	外
	シバ	○			
	シマスズメノヒエ		○	○	外
	ジュズダマ	○	○	○	外
	ススキ	○	○	○	
	スズメノカタビラ	○			
	スズメノチャヒキ			○	
	セイバンモロコシ		○	○	外
	タイヌビエ			○	
	タチカモジグサ			○	
	タチスズメノヒエ		○	○	外
	チガヤ	○	○	○	
	チカラシバ		○	○	
	チヂミザサ	○	○	○	
	ツクシスズメノカタビラ			○	
	トキワススキ	○			
	トダシバ		○	○	
	トボシガラ			○	
	ナガハグサ			○	外
	ナギナタガヤ	○		○	外
	ニワホコリ			○	
	ヌカキビ		○	○	
	ヌカススキ	○			外
	ヌカボ	○		○	
	ネザサ	○	○	○	
ネズミノオ		○	○		
ネズミホソムギ			○		

※ H20 調査でのみ確認されたものは灰色表記としている。

表5. 確認された植物

NO.18

科名	種名 (和名)	春季調査	秋季調査	H20調査	備考
		5月5日	10月30日	(参考)	
単子葉類 (続き)					
イネ科 (続き)	ネズミムギ	○			
	ノガリヤス			○	
	ハチク	○	○		
	ヒエガエリ	○			
	ヒメアシボソ		○		
	ヒメイヌビエ		○		
	ヒメコバンソウ	○		○	外
	ヒメモロコシ		○		外
	ヒロハウシノケグサ	○			外
	ホソムギ			○	外
	マダケ	○	○	○	
	ミゾイチゴツナギ	○			
	ムラサキネズミノオ			○	
	メガルカヤ	○	○	○	
	メダケ	○	○	○	
	メヒシバ		○	○	
	メリケンカルカヤ	○	○	○	外
	モウソウチク			○	木・外
ヤマヌカボ	○				
ガマ科	ガマ	○	○	○	
カヤツリグサ科	アイダクグ		○		
	アオスゲ	○			
	オニガヤツリ			○	
	カヤツリグサ		○		
	コゴメガヤツリ			○	
	シラスゲ	○			
	シンジュガヤ		○	○	(県)IB類
	タチスゲ	○		○	

※ H20 調査でのみ確認されたものは灰色表記としている。

表5. 確認された植物

NO.19

科名	種名 (和名)	春季調査	秋季調査	H20調査	備考
		5月5日	10月30日	(参考)	
単子葉類 (続き)					
カヤツリグサ科 (続き)	ナキリスゲ	○	○	○	
	ハマスゲ	○	○	○	
	ヒデリコ		○	○	
	ヒメクグ		○	○	
	ヒメモエギスゲ			○	
	マスクサ			○	
	ヤマイ		○	○	
	ヤワラスゲ			○	
カンナ科	ダンドク		○	○	外
サトイモ科	カラスビシャク	○		○	
	ショウブ	○		○	
ツユクサ科	カロライナツユクサ		○		
	ツユクサ	○	○	○	
	トキワツユクサ			○	
	マルバツユクサ		○	○	
	ミドリハカタカラクサ	○			外
	ヤブミヨウガ			○	
ヒガンバナ科	サフランモドキ	○			外
	タマスダレ	○	○		外
	ヒガンバナ		○	○	
マンサク科	イスノキ		○		木
ヤシ科	シュロ	○	○	○	木
ヤマノイモ科	オニドコロ	○			
	ナガイモ	○			外
	ニガカシュウ			○	
	ヤマノイモ	○	○	○	
ユリ科	オニユリ	○			
	サルトリイバラ	○	○	○	木

※ H20 調査でのみ確認されたものは灰色表記としている。

表5. 確認された植物

NO. 20

科名	種名 (和名)	春季調査	秋季調査	H20調査 (参考)	備考
		5月5日	10月30日		
単子葉類 (続き)					
ユリ科 (続き)	ジャノヒゲ	○	○	○	
	タカサゴユリ	○	○		外
	ツルボ			○	
	ナルコユリ			○	
	ニラ	○	○	○	
	ノビル	○	○	○	
	ハウチャクソウ			○	
	ホトトギス			○	
	ヤブラン	○	○	○	
ラン科	ネジバナ			○	

※ H20調査でのみ確認されたものは灰色表記としている。

(2) 鳥類

- ◆ 9目22科41種（参考：平成20年度9目22科28種）が確認された。
- ◆ 新たに環境省準絶滅危惧種のハイタカが確認された。
- ◆ 新たに福岡県準絶滅危惧種のニュウナイスズメ、ノスリが確認された。
- ◆ 特定外来生物のソウシチョウが確認された。
- ◆ 平成20年調査で確認された環境省準絶滅危惧種のミサゴは確認されなかった。
- ◆ 平成20年調査で確認された福岡県準絶滅危惧種のアマサギは確認されなかった。

表6. 確認された主な鳥類

 <p>ハイタカ（写真出典：レッドデータブックおおいた2011）</p>	<p>国：準絶滅危惧種</p> <p>全長雄約30～雌40cm。翼開張雄約60.5～雌約79cm。移動するときは羽ばたきと滑翔を繰り返して直線的に飛ぶ。飛んでいるとき、翼はやや幅広く、尾は長く見える。高い木の上や枝先に止まり、獲物を見つけると飛び立って足の爪で小鳥類や小型獣類を捕獲する。</p> <p>（出典：福岡県の希少野生生物 福岡県レッドデータブック2001）</p>
 <p>ニュウナイスズメ</p>	<p>県：準絶滅危惧種</p> <p>雌は上面が灰褐色で淡黄色の細かくて明瞭な眉斑がある。背には黒い縦斑がある。雄の夏羽は頭上から腰が栗色。背に黒い縦斑がある。喉は黒い。さえずりはツイーツリピヨピリリリ。地鳴きはチュツ、ツイー、ピヨツなど。</p> <p>（出典：五百沢日丸/解説、ネイチャーガイド日本の鳥550 山野の鳥〔増補改訂版〕 文一総合出版）</p>
 <p>ノスリ</p>	<p>県：準絶滅危惧種</p> <p>山地の林で繁殖する。秋冬は暖地や低地にも移動し、草地や農耕地、水辺などの開けた辺境で見える。トビより短い丸尾。飛翔時、翼の下面と腹に黒っぽく見える部分がある。停飛をし、急降下をしてネズミなどを捕る。繁殖期にピーエーと鳴く。</p> <p>（出典：安西英明/解説、野鳥観察ハンディ図鑑、新・山野の鳥 財団法人日本野鳥の会）</p>

表7. 確認された鳥類

NO.1

科名	種名 (和名)	春季調査	秋季調査	H20調査	備考
		5月29日	11月24日	(参考)	
カイツブリ目 (1科 1種)					
カイツブリ科	カイツブリ	○	○	○	
カツオドリ目 (1科 1種)					
ウ科	カワウ	○	○		
カッコウ目 (1科 1種)					
カッコウ科	ホトトギス	○		○	
カモ目 (1科 9種)					
カモ科	オシドリ		○		
	オナガガモ		○		
	カルガモ		○		
	キンクロハジロ		○		
	コガモ		○		
	トモエガモ		○		
	ハシビロガモ		○		
	ヒドリガモ			○	
	ホシハジロ		○		
マガモ		○			
キジ目 (確認されず)					
キジ科	コジュケイ			○	
キツツキ目 (1科 2種)					
キツツキ科	アオゲラ	○			
	コゲラ	○	○	○	
コウノトリ目 (1科 3種)					
サギ科	アオサギ	○	○	○	
	アマサギ			○	(県)準絶
	ゴイサギ			○	
	コサギ	○	○		
	ダイサギ	○	○	○	
スズメ目 (14科 21種)					
アトリ科	カワラヒワ	○	○	○	

※ H20調査でのみ確認されたものは灰色表記としている。

表7. 確認された鳥類

NO.2

科名	種名 (和名)	春季調査	秋季調査	H20調査	備考
		5月29日	11月24日	(参考)	
スズメ目 (続き)					
ウグイス科	ウグイス	○	○	○	
エナガ科	エナガ	○	○	○	
カラス科	カササギ			○	
	ハシブトガラス	○	○	○	
	ハシボソガラス	○	○	○	
シジュウカラ科	シジュウカラ	○	○	○	
	ヤマガラ		○	○	
スズメ科	スズメ	○	○	○	
セキレイ科	キセキレイ		○		
	ハクセキレイ		○	○	
チメドリ科	ソウシチョウ	○		○	特外
ツバメ科	ツバメ	○		○	
ヒタキ科	キビタキ			○	
	ジョウビタキ		○		
	シロハラ		○		
	ツグミ		○		
	ニューナイスズメ		○		(県)準絶
	マミチャジナイ		○		
ヒヨドリ科	ヒヨドリ	○	○	○	
ホオジロ科	ホオジロ	○	○	○	
ムクドリ科	ムクドリ			○	
メジロ科	メジロ	○	○	○	
モズ科	モズ		○		
タカ目 (1科 2種)					
タカ科	ノスリ		○		(県)準絶
	ハイタカ		○		(国)準絶
	ミサゴ			○	(国)準絶
ハト目 (1科 1種)					
ハト科	キジバト	○	○	○	

※ H20調査でのみ確認されたものは灰色表記としている。

(3) 昆虫類・クモ類

- ◆ 12目76科179種（参考：平成20年度11目69科143種）が確認された。
- ◆ 新たに福岡県準絶滅危惧種のハルゼミ、タバサナエが確認された。
- ◆ 平成20年調査で確認された福岡県絶滅危惧Ⅱ類のルリエンマムシは確認されなかった。

表8. 確認された主な昆虫類・クモ類

	<p>県：準絶滅危惧種</p> <p>体長は雄が27～32mm、雌が23～26mm、褐色の地に多くの黒斑がある。前胸背には黒色の1縦条、中胸背には5本の黒縦条をもつ。4月下旬から6月上旬にかけて松林で「ムゼー・ムゼー」と鳴く。</p> <p>(出典：福岡県の希少野生生物 福岡県レッドデータブック2001)</p>
	<p>県：準絶滅危惧種</p> <p>4月～6月に平地～丘陵の流れに緩やかで、水深の浅い河川周辺で見られる。胸正面のL字状斑はあるが、細長い斑紋はない。雄の上付属器背面には明確なトゲがある。</p> <p>(出典：槐真史/編著、伊丹市昆虫館/監修、ポケット図鑑日本の昆虫1400 ②トンボ・コウチュウ・ハチ 文一総合出版)</p>
	<p>クモを食べるクモ。腹部が異常に長く、体と脚を真っ直ぐに伸ばしていると松葉のように見える。里山～山地に多く生息。3～4本の糸を引いただけの条網を張る。糸には粘性が無く、その糸を伝わって来るクモを捕らえる。</p> <p>(出典：新海栄一/著、ネイチャーガイド日本のクモ 文一総合出版)</p>

表9. 確認された昆虫・クモ類

NO.1

科名	種名 (和名)	春季調査	秋季調査	H20調査	備考
		5月29日	11月24日	(参考)	
アカミカゲロウ目 (1科 1種)					
ウスバカゲロウ科	ウスバカゲロウ	○		○	
カマキリ目 (1科 2種)					
カマキリ科	オオカマキリ	○	○	○	
	ハラビロカマキリ	○	○	○	
ヒメカマキリ科	ヒメカマキリ			○	
カメムシ目 (9科 16種)					
アオバハゴロモ科	アオバハゴロモ			○	
アメンボ科	ナミアメンボ	○	○		
オオホシカメムシ科	オオホシカメムシ		○		
オオヨコバイ科	ツマグロオオヨコバイ	○	○		
カメムシ科	アオクサカメムシ	○	○	○	
	キマダラカメムシ	○	○		
	クサギカメムシ			○	
	チャバネアオカメムシ	○			
サシガメ科	ヨコヅナサシガメ			○	
セミ科	アブラゼミ	○			
	クマゼミ	○			
	ツクツクボウシ		○	○	
	ニイニイゼミ		○		
	ハルゼミ	○			(県)準絶
ツチカメムシ科	ツチカメムシ	○	○		
ハリカメムシ科	ハリカメムシ		○		
	ホオズキカメムシ	○	○		
ホソハリカメムシ科	ホソハリカメムシ			○	
マキバサシガメ科	ハネナガマキバサシガメ			○	
マツモムシ科	マツモムシ	○	○		
マルカメムシ科	マルカメムシ	○	○		

※ H20調査でのみ確認されたものは灰色表記としている。

表9. 確認された昆虫・クモ類

NO.2

科名	種名 (和名)	春季調査	秋季調査	H20調査	備考
		5月29日	11月24日	(参考)	
コウチュウ目 (10科 24種)					
エンマムシ科	ルリエンマムシ			○	(県)Ⅱ類
オサムシ科	ミイデラゴミムシ			○	
カミキリムシ科	キクスイカミキリ	○			
	キボシカミキリ		○		
	ゴマダラカミキリ	○			
	ツماغロハナカミキリ	○			
	マツノマダラカミキリ	○			
	ラミーカミキリ	○			
カミキリモドキ科	カトウカミキリモドキ			○	
クワガタムシ科	コクワガタ	○	○		
コガネムシ科	アオドウコガネ	○	○		
	アオハナムグリ			○	
	アシナガコガネの一種			○	
	カナブン			○	
	クロカナブン			○	
	コフキコガネ	○			
	コブマルエンマコガネ	○			
	シラホシハナムグリ			○	
	ヒメコガネ	○			
ゴミムシダマシ科	キマワリ	○	○	○	
	ホソスナゴミムシダマシ	○			
	ユミアシゴミムシダマシ	○			
シテムシ科	オオヒラタシテムシ	○			
センチコガネ科	センチコガネ	○	○	○	
ゾウムシ科	カシワクチブトゾウムシ		○		
テントウムシ科	ナナホシテントウ	○	○	○	
	ナミテントウ	○	○	○	
ハネカクシ科	アオバアリガタハネカクシ			○	

※ H20 調査でのみ確認されたものは灰色表記としている。

表9. 確認された昆虫・クモ類

NO.3

科名	種名 (和名)	春季調査	秋季調査	H20調査	備考
		5月29日	11月24日	(参考)	
コウチュウ目 (続き)					
ハムシ科	イタドリハムシ	○			
	ウリハムシ			○	
	クロウリハムシ	○		○	
	ユリクビナガハムシ	○			
ハンミョウ科	ニワハンミョウ			○	
	ナミハンミョウ			○	
ホタル科	オバボタル	○			
	ムネクリイロボタル	○			
ゴキブリ目 (1科 1種)					
ゴキブリ科	クロゴキブリ			○	
チャバネゴキブリ科	モリチャバネゴキブリ	○	○	○	
チョウ目 (14科 52種)					
アゲハチョウ科	アオスジアゲハ	○		○	
	アゲハ	○		○	
	キアゲハ	○		○	
	クロアゲハ	○		○	
	ジャコウアゲハ	○			
	ナガサキアゲハ			○	
	モンキアゲハ	○			
カノコガ科	カノコガ	○			
イラガ科	ヒロヘリアオイラガ	○	○	○	
シジミチョウ科	ウラギンシジミ	○	○	○	
	ウラナミシジミ		○	○	
	ツバメシジミ	○	○	○	
	ベニシジミ	○	○		
	ムラサキシジミ	○	○	○	
	ムラサキツバメ			○	
	ヤマトシジミ	○	○	○	

※ H20調査でのみ確認されたものは灰色表記としている。

表9. 確認された昆虫・クモ類

NO. 4

科名	種名 (和名)	春季調査	秋季調査	H20 調査	備考
		5月29日	11月24日	(参考)	
チョウ目 (続き)					
シジミチョウ科 (続き)	ルリシジミ	○		○	
シャクガ科	ウメエダシャク	○		○	
	トンボエダシャク	○			
	ユウマダラエダシャク			○	
	ヨツモンマエジロアオシャク	○			
ジャノメチョウ科	サトキマダラヒカゲ			○	
シロチョウ科	キタキチョウ	○	○		
	キチョウ			○	
	スジグロシロチョウ	○		○	
	モンキチョウ			○	
	モンシロチョウ	○	○	○	
スズメガ科	オオスカシバ	○		○	
	キョウチクトウスズメ	○			
	クロメンガタスズメ		○		
	コスズメ	○			
	ホシホウジャク	○		○	
セセリチョウ科	イチモンジセセリ			○	
	キマダラセセリ			○	
	クロセセリ	○			
	コチャバネセセリ			○	
	ダイミョウセセリ	○		○	
	チャバネセセリ		○		
タテハチョウ科	アカタテハ	○	○	○	
	イシガケチョウ	○		○	
	キタテハ		○	○	
	クロコノマチョウ		○	○	
	クロヒカゲ			○	
	コジャノメ	○		○	

※ H20 調査でのみ確認されたものは灰色表記としている。

表9. 確認された昆虫・クモ類

NO. 5

科名	種名 (和名)	春季調査	秋季調査	H20 調査	備考
		5月29日	11月24日	(参考)	
チョウ目 (続き)					
タテハチョウ科 (続き)	ゴマダラチョウ			○	
	コミスジ	○		○	
	コムラサキ			○	
	タテハモドキ	○		○	
	ツマグロヒョウモン	○	○	○	
	テングチョウ	○			
	ヒメアカタテハ	○	○	○	
	ヒメウラナミジャノメ	○			
	ヒメジャノメ			○	
	ルリタテハ	○		○	
ツトガ科	ワタハリクロノメイガ	○			※メイガ科とする分類もある
ドクガ科	ゴマフリドクガ		○		
	チャドクガ	○	○	○	
	ドクガ			○	
マダラガ科	サツマニシキ	○	○		
ミノガ科	シバミノガ	○	○	○	
	チャミノガ	○	○	○	
ヤガ科	アケビコノハ			○	
	ハグルマトモエ	○		○	
	ハスモンヨトウ	○			
	フクラスズメ	○		○	
	フタトガリコヤガ	○			
ヤママユガ科	クスサン			○	
トンボ目 (7科 21種)					
アオイトトンボ科	アオイトトンボ	○	○	○	
	オオアオイトトンボ		○		
	ホソミオツネントンボ	○			
イトトンボ科	アオモンイトトンボ	○		○	

※ H20 調査でのみ確認されたものは灰色表記としている。

表9. 確認された昆虫・クモ類

NO.6

科名	種名 (和名)	春季調査	秋季調査	H20調査	備考
		5月29日	11月24日	(参考)	
トンボ目 (続き)					
カワトンボ科	ニシカワトンボ			○	
	ハグロトンボ	○			
サナエトンボ科	タイワンウチワヤンマ	○		○	
	タベサナエ	○			(県)準絶
	ヤマサナエ			○	
トンボ科	ウスバキトンボ	○	○	○	
	オオシオカラトンボ	○		○	
	コシアキトンボ	○		○	
	シオカラトンボ	○	○	○	
	シオヤトンボ	○			
	タイリクアカネ		○		
	チョウトンボ	○			
	ノシメトンボ		○	○	
	ハネビロトンボ	○	○		
	ハラビロトンボ	○		○	
マユタテアカネ		○	○		
ヤマトンボ科	オオヤマトンボ	○			
ヤンマ科	カトリヤンマ			○	
	ギンヤンマ	○			
	サラサヤンマ	○			
ナナフシ目 (1科 1種)					
ナナフシ科	エダナナフシ	○			
ハエ目 (9科 13種)					
アシナガバエ科	マダラアシナガバエ	○		○	
イエバエ科	イエバエ		○		
ガガンボ科	ベッコウガガンボ	○			
カ科	ヒトスジシマカ	○		○	
クロバエ科	オオクロバエ		○		

※ H20調査でのみ確認されたものは灰色表記としている。

表9. 確認された昆虫・クモ類

NO.7

科名	種名 (和名)	春季調査	秋季調査	H20調査	備考
		5月29日	11月24日	(参考)	
ハエ目 (続き)					
クロバエ科 (続き)	キンバエ			○	
	ツマグロキンバエ		○		
ショウジョウバエ科	ショウジョウバエ			○	
ニクバエ科	センチニクバエ	○		○	
ハナアブ科	オオハナアブ		○		
	シマハナアブ	○			
	ハナアブ			○	
	ホソヒラタアブ	○	○	○	
ムシヒキアブ科	シオヤアブ	○		○	
	マガリケムシヒキ	○			
ユスリカ科	セスジユスリカ	○			
ハチ目 (3科 10種)					
アリ科	アイイロアリ			○	
	アメイロアリ			○	
スズメバチ科	オオスズメバチ	○	○		
	キイロスズメバチ	○	○		
	クロスズメバチ		○		
	コガタスズメバチ		○	○	
	セグロアシナガバチ	○	○	○	
ミツバチ科	キムネクマバチ	○			
	セイヨウミツバチ	○	○		
	トラマルハナバチ			○	
	ニホンミツバチ	○	○	○	
ミフシハバチ科	チュウレンジハバチ	○	○		
	ルリチュウレンジ	○			
バッタ目 (8科 12種)					
オンブバッタ科	オンブバッタ	○	○	○	
イナゴ科	ツチイナゴ	○	○	○	

※ H20 調査でのみ確認されたものは灰色表記としている。

表9. 確認された昆虫・クモ類

NO.8

科名	種名 (和名)	春季調査	秋季調査	H20 調査	備考
		5月29日	11月24日	(参考)	
バッタ目 (続き)					
キリギリス科	キリギリス	○		○	
	クビキリギリス			○	
	ホシササキリ			○	
コオロギ科	エンマコオロギ			○	
	コガタコオロギ			○	
	ツヅレサセコオロギ		○		
	ミツカドコオロギ		○		
ツユムシ科	サトクダマキモドキ		○		
	ツユムシ			○	
バッタ科	イボバッタ			○	
	ショウリョウバッタ	○		○	
	ショウリョウバッタモドキ			○	
	トノサマバッタ		○	○	
	ヤマトフキバッタ	○			
ヒシバッタ科	ヒシバッタ	○			
ヒバリモドキ科	キンヒバリ	○			
	クサヒバリ	○			
クモ目 (12科26種)					
アシナガグモ科	アシダカグモ			○	
	アシナガグモ		○	○	
	チュウガタシロカネグモ	○		○	
	ヤサガタアシナガグモ	○		○	
カニグモ科	アズチグモ	○			
	ハナグモ	○		○	
	ヤミイロカニグモ	○	○		
キシダグモ科	イオウイロハシリグモ	○		○	
コガネグモ科	コガネグモ	○	○	○	
	ゴミグモ	○	○	○	

※ H20 調査でのみ確認されたものは灰色表記としている。

表9. 確認された昆虫・クモ類

NO.9

科名	種名 (和名)	春季調査	秋季調査	H20 調査	備考
		5月29日	11月24日	(参考)	
クモ目 (続き)					
コガネグモ科 (続き)	サツマノミダマシ			○	
	ドヨウオニグモ			○	
	ナガコガネグモ	○	○	○	
	ワキグロサツマノミダマシ	○			
コモリグモ科	ウヅキコモリグモ	○	○	○	
	ハラクロコモリグモ	○	○	○	
ササグモ科	ササグモ	○		○	
サラグモ科	チビアカサラグモ			○	
ジグモ科	ジグモ	○	○	○	
ジョロウグモ科	ジョロウグモ	○	○	○	
タナグモ科	クサグモ	○			
	コクサグモ			○	
ハエトリグモ科	アオオビハエトリ	○	○	○	
	チャスジハエトリ			○	
	ネコハエトリ		○	○	
	マミジロハエトリ	○	○	○	
	ヤハズハエトリ	○		○	
ヒメグモ科	イエオニグモ			○	
	オオヒメグモ	○		○	
	オナガグモ		○		
	シロカネイソウロウグモ		○		
	ヒメグモ	○	○		
ヒラタグモ科	ヒラタグモ	○	○	○	

※ H20 調査でのみ確認されたものは灰色表記としている。

(4) は虫類・両生類

- ◆ 4目6科7種（参考：平成20年度3目4科6種）が確認された。
- ◆ 新たに環境省絶滅危惧Ⅱ類、福岡県絶滅危惧Ⅱ類のカスミサンショウウオが確認された。
- ◆ 平成20年調査時に確認された福岡県絶滅危惧Ⅱ類のニホンアカガエルは確認できなかった。

表10. 確認された主な は虫類・両生類

 <p>カスミサンショウウオの幼生</p>	<p>国：絶滅危惧Ⅱ類 県：絶滅危惧Ⅱ類</p> <p>最大全長13cmほどで、黄褐色～暗褐色の体色に多くの個体で尾の上部に黄色の条線が見られる。繁殖期は1～4月頃で、1対の卵のうを水底の落葉や小石などに産み付ける。幼生は4ヶ月ほどで変態し、上陸後は周辺の雑木林や竹林に分散し土壌動物を食べて生活する</p> <p>(出典：福岡県の希少野生生物 福岡県レッドデータブック2014)</p>
 <p>ニホンカナヘビ</p>	<p>大きなもので20cmぐらい。尾は長くスマートに見える。背中は茶色。腹は白っぽい。昆虫や蜘蛛など小動物を食す。名前に「ヘビ」とついているがトカゲの仲間。春から秋にかけて住宅地や畑、林、河原、山地などさまざまな場所で見かける。敵に捕まると自分から尾を切って逃げる。</p> <p>(出典：いきものみつけ手帖 環境省自然環境局生物多様性センター)</p>
 <p>ウシガエルの幼生 (2年生)</p>	<p>特定外来生物</p> <p>オタマジャクシは越冬し15cmほどに達する。成体は体長111～183mm、体重139～183g。夜行性で昼間は水草や水場周辺の茂みや窪地に隠れる。雄はウォーウォーと鳴く。肉食性で口に入る大きさであればほとんどの動物を食べる。</p> <p>(出典：侵入生物データベース 国立研究開発法人国立環境研究所)</p>

表11. 確認された は虫類・両生類

NO.1

科名	種名 (和名)	春季調査	秋季調査	H20調査 (参考)	備考
		4月10日	10月25日		
は虫綱 カメ目 (2科 2種)					
イシガメ科	クサガメ		○		
ヌマガメ科	ミシシippアカミミガメ	○	○	○	外
は虫綱 有鱗目 (2科 2種)					
カナヘビ科	ニホンカナヘビ	○	○	○	
ヤモリ科	ニホンヤモリ		○		
両生綱 有尾目 (1科 1種)					
サンショウウオ科	カスミサンショウウオ	○			(国)Ⅱ類、(県)Ⅱ類
両生綱 無尾目 (1科 2種)					
アカガエル科	ウシガエル	○	○	○	特外
	ニホンアカガエル			○	(県)Ⅱ類
	ヌマガエル	○	○	○	
アマガエル科	ニホンアマガエル			○	

※ H20 調査でのみ確認されたものは灰色表記としている。

(5) ほにゅう類

- ◆ 3目4科6種（参考：平成20年度は哺乳類は未調査）が確認された。
- ◆ 新たに福岡県絶滅危惧Ⅱ類のカヤネズミの巣が確認された。
- ◆ 新たに特定外来生物のアライグマの爪痕が確認された。

表12. 確認された主な ほにゅう類

 <p style="text-align: center;">カヤネズミの巣</p>	<p>県：絶滅危惧Ⅱ類</p> <p>体が約6cm、尾が約7cm、体重が約8gで日本で最も小さいネズミ。河原や堤防、湿地などの草地に生息し、草丈の高いイネ科のススキやトダシバの葉を巧みに編んで、直径約10cmの球形の巣を作る</p> <p>(出典：福岡県の希少野生生物 福岡県レッドデータブック 2011)</p>
 <p style="text-align: center;">アライグマの爪痕</p>	<p>特定外来生物</p> <p>頭胴長40～60cm、尾長20～40cm、体重4～10kg。体毛は灰色から明るい茶褐色で尾に4～10本の輪模様がある。顔つきはタヌキ、アナグマに似ていて白色の顔に目を覆うように黒い帯と鼻から眉間にかけて黒い筋がある。</p> <p>(出典：大牟田市HP)</p>

表13. 確認された ほにゅう類

科名	種名 (和名)	春季調査	秋季調査	H20調査 (未調査)	備考
		5月10日	11月12日		
齧歯目 (ネズミ目) (1科 1種)					
ネズミ科	カヤネズミ	○			(県)Ⅱ類、巣を確認
食虫目 (モグラ目) (1科 2種)					
モグラ科	コウベモグラ	○	○		トンネルを確認
	ヒミズ	○			トンネルを確認
食肉目 (ネコ目) (2科 3種)					
アライグマ科	アライグマ	○	○		特外、爪痕を確認
イタチ科	アナグマ	○	○		食痕を確認
	テン	○	○		フンを確認

※ H20調査でのみ確認されたものは灰色表記としている。

6 まとめ

今回の調査では、のべ210科656種の生物が確認された（表14参照）。
また、11種の希少生物が確認された（表15参照）。

表14. 調査結果まとめ

	目	科	種
植生・植物		102	423
鳥類	9	22	41
昆虫類	11	64	153
クモ類	1	12	26
は虫類	2	4	4
両生類	2	2	3
ほ乳類	3	4	6
合計	28	210	656

表15. 確認された希少生物まとめ

	I A類 (国)	I B類 (国)	II類 (国)	準絶 (国)	その他
植物			イヌセンブリ【I B類】	カワヂシャ【準絶】 ミゾコウジュ【準絶】	リンドウ【II類】 シンジュガヤ【I B類】
鳥類				ハイタカ	ニューナイスズメ【準絶】 ノスリ【準絶】
昆虫類					ハルゼミ【準絶】 タバサナエ【準絶】
両生類			カスミサンショウウオ 【II類】		

※表中各列のタイトルは環境省のレッドリストの分類を表し、【 】内は、福岡県のレッドデータの分類を表す。

今年度は、甘木山の調査を行った。調査は各分野2回（春季・秋季）行い、11種の希少生物、2種の特定外来生物を含む656種の生物を確認できた。

今回の調査で新たに確認された希少生物がいる一方、H20年度に確認された希少生物が見られないものもあった。しかし決まったルート上での調査であるため、必ずしも生息していないとはいえない。さらに把握を進めるためにも、今後も調査の積み重ねが求められる。

発行日／令和4年3月

編集・発行／大牟田市環境部環境保全課

〒836-8666 大牟田市有明町2丁目3番地

TEL：0944（41）2721 FAX：0944（41）2722

